

2024年1月1日 16時10分 能登半島地震発災

35分後には自衛隊に
災害派遣要請



県民の命が最優先
できることは何でもやる



林官房長官(当時)

発災時、東京にいた馳知事は、
旧知の間柄である林官房長官(当時)の
携帯に直電し、速やかに官邸へ移動

自衛隊経由で提供される
官邸の最新情報をもとに
18時30分にはオンラインで
『第1回災害対策本部員会議』を開催
結果的に東京にいたことで、
官邸との密な連携による迅速な
初動対応を行うことができた



自衛隊ヘリにて石川県へ移動、
同日23時22分に石川県庁に到着

翌2日、朝7時すぎ
消防防災ヘリで上空から
被災地の状況を確認



地震で道路が寸断され、
電気・水道・ガスは止まり、
能登は陸の孤島と化していた

馳知事は
「能登を救うための
非常事態」を宣言

県庁のすべての部局に
災害対応に当たるよう指示



人があふれ、トイレも
不十分な避難所では感染症も
蔓延し、ビニールハウスや
車中泊も続出した

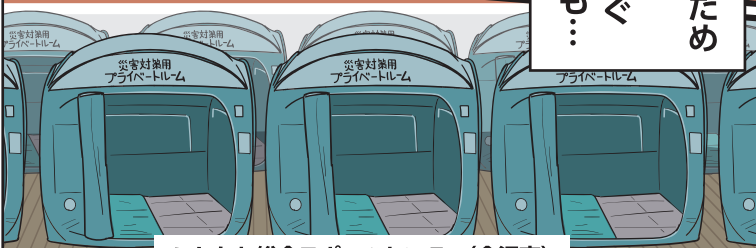


そこで、災害関連死を減らすため
健康状態をチェックし、
被災地外の二次避難所へつなぐ
「1.5次避難所」を検討するも…

前例がありません、
後々に県の責任を
問われるリスクが！

責任は私が取る
高齢者や要介護者の
命を守るためだ

「1.5次避難所」
日本初開設



いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)

2024年9月
奥能登豪雨災害
さらなる試練



馳知事は
「公費解体加速化プラン」を
策定し、毎週の工程会議で
進捗を徹底管理



想定を超える2倍近くの申請※
にも関わらず、公費解体は
驚異的なスピードで進み、
2025年12月末、一部を除き
被災建物の公費解体が完了

※当初見込みの約2万3千棟から、最終的には約4万5千棟へと倍増した

「能登のデマや政治利用、本当に腹立たしい」。
“偽被災者”と中傷された
地元住民は、「もう一つの
災害」に襲われていた

※引用元:HUFFPOST 2025.08.27
https://www.huffingtonpost.jp/entry/story_jp-6892d4b9e4b0d3424bc43bed

「能登は見捨てられた」説
に現地から猛反論…被災
地で起きている「劇的な変
化」と、あえて「復旧しない
場所」がある納得の理由

※引用元:現代ビジネス 2025.12.03
<https://gendai.media/articles/-/160677>

現実とかけ離れている
SNS投稿や報道が続く中、
事実を伝え始める記事が出てきた



マスコミの報道を問題視する指摘も

東京を中心とする
メディアでは、
創造的復興の取り組みも
ほとんど伝えていない



西田教授(リハック出演)

すでに能登復旧の先を考えた
動きは始まっている

● スタートアップ企業の誘致

● 関係人口の拡大

(いしかわサテライトキャンパス)

● 道路網の強靱化「のと里山海道」

● 伝統工芸と祭りの復活 他多数

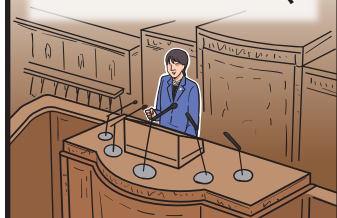


2025年12月7日
高市総理の被災地視察

高市総理



現場で積み重ねられた判断と経験は、
次の備えへとつながっていく
高市総理が進める「防災庁」の設置
(令和8年度目標)は、今回の能登での
馳知事の経験や教訓が色濃く
反映されている



先日は被災地視察
ありがとうございました

頂いた要望書、
全部対応
しといたからね



前例のない現場で、
迅速・的確な判断を積み重ねてきた
すべては県民のために、
「できない」を『できる』に変える県政を

